

～岩手の議員で力を合わせて～

岩手の生産基盤を守る！

豪雪対策 農水省に申し入れ

災害

労働

今冬は今までに例を見ないほどの豪雪でした。県内では、農業用ハウスや畜舎等の倒壊、果樹の枝折れなど甚大な被害がありました。県民の皆さまの生活を一刻も早く救うべく、同じく岩手の

小沢一郎衆議院議員と、木戸口英司参議院議員と共に農林水産省に県民の皆さまからお聞きした現状を報告。市長やJAの皆さまより戴きました要望書を提出いたしました。岩手の皆さまの生産基盤を守るため、これからも全力で取り組んでまいります。



1/20

命の道路 安心できる暮らしを 復興支援道路が全通

災害

地方

東日本大震災の復興事業として、命を繋ぐこの道路が全線開通できたこと、喜ばしく思います。何よりも、冬期の心理的不安解消により、人の交流と物流がさらに加速し、地方の活力が生まれることを期待します。



3/28

岩手に科学を！ ILC 誘致計画

国際的な費用分担が課題だと考え質疑しました。萩生田大臣からは「国際社会の皆さんと、運営法や最終的な目標をしっかりと議論し進めたい」とのこと。

科学

国際

PICTURE REPORT

自ら赴き、“現場の声”を聞く！



1/3

八幡平市の消防出初式に出席 地域の安心安全を守って下さる事に感謝



1/5

志賀理和氣神社を訪問 世界中の疫病退散を祈って



1/5

下倉スキー場を訪問 コロナ禍の観光産業の話を伺う



1/11

矢巾町イベント「や市」 久しぶりの外出 喜びの声を聞く



1/20

北上、金ヶ崎、胆沢地区の豪雪被害を視察 生産者の現状と意見を聞く



2/20

「異彩を放て」岩手のアートブランド ヘルパルボニーの特設ショップを訪問



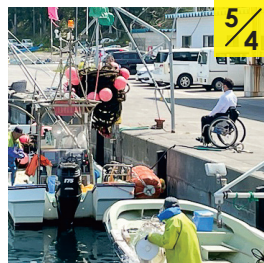
3/8

国立リハビリテーションセンターを訪問 最先端のリハビリ技術を体験



3/23

バイカーズ議連を発足 日本が誇るバイクの普及と安全教育を促進



5/4

岩手県はワカメ生産量日本一！三陸ワカメ漁師さんのお話を聞く



6/13

県内のりんご農家さんと意見交換 霜被害の実態調査を急ぐ

ご相談・お問い合わせは...

参議院議員 横沢たかのり

1972 年 | 紫波郡矢巾町生まれ。不動小、矢巾中、盛岡工業高卒。
(株)スズキのテストライダー等を経て全日本モトクロス選手権などに参戦。
1997 年 | 練習中の事故で脊髄損傷。車いす生活となりチェアスキーに転向。
2010 年 | バンクーバー・パラリンピック アルペンスキー日本代表
2014 年 | ソチ・パラリンピック NHK 解説者
2019 年 | 第25回参議院議員選挙 岩手選挙区 初当選



<https://yokosawa.net> E-mail : office.yokosawa@gmail.com

地元 〒020-0022
盛岡市大通 3-1-24
第三菱和ビル 5F
TEL : 019-625-6601
FAX : 019-625-6603

国会 〒100-8962
千代田区永田町 2-1-1
参議院議員会館702号室
TEL : 03-6550-0702
FAX : 03-6551-0702

NEWS!

憲政史上初！ 車いすで直接投票

今までは代理投票で行ってきた本会議の採決。この度、参議院に登壇用スロープが設けられ、車いすでの直接投票が可能となりました。障がいのある無に関わらず共に生きる社会に向けて、国会の取り組みが一步前進。私を国会へ送っていただいた皆さまの力が国を動かしました！



3/26

未来を 見据えた 政治を

強くやさしい日本へ

参議院議員

横沢たかのり

よこさわ

岩手県選出 車いす議員
横沢たかのりの
2021年上半期の政治活動
をご報告いたします。

皆さまの支えがあり、今年も通常国会を走り切ることができました。健常者の生活も車いすの生活も知る、私ならではの視点で、様々な立場の方の声を国に届けてまいりました。一刻も早く皆さまに安心して生活していただくには、スピード感を持った支援政策が重要であると考えています。

また、短期的な費用対効果だけでない、未来を見据えた政策作りが肝要です。国民一人ひとりが安心して生活し、挑戦できる環境にあること、それがいずれ国全体の豊かさにもつながるからです。10 年、50 年後の強くやさしい日本の実現に向けて、これからも身近で分かりやすい政治姿勢で尽力して参りますので、引き続き皆さまのご支援宜しくお願い致します。

参議院議員 横沢たかのり

誰もが暮らしやすい 共生型社会を目指して

健常者だった頃の視点と車いすで生活する視点から、子ども、子育て世代、女性、若者、高齢者、障がい者など、今まで声が届きにくかった方々の、声なき声に寄り添った国会活動を行っています。そうした方々にやさしい社会は、**全ての人にやさしい社会**であると信じています。



参議院議員

横沢たかのり

【所属委員会】文教科学委員会 / 東日本大震災復興特別委員会 / 議院運営委員会 / 国際経済・外交に関する調査会

委員会での質疑をピックアップ！

2021年上半期 活動報告

YOKO SAWA POINT
まずは子どもたちを第一に、働き方改革にも繋がる、双方にとって良い方向性を、地域の皆さんと共に作り出していく必要があります！

萩生田
文科大臣

あまり注目が当たってこなかった民俗文化等、国として応援していくメニューを進化させたい。

郷土料理・芸能など 無形文化財も 登録可能に

4月15日 文教科学委員会

文化財は、我が国の長い歴史と生活の中から生まれ、現在まで守り伝えられてきたかけがえのないものです。できる限り、次の世代に継承していく、国の取り組みが重要と提言しました。

法案審議：
文化財
保護法
改正

西村

経済再生
担当大臣

宣言下以外の地域も大変厳しい状況にあると伺っている。しっかり支援していく。

1

緊急事態宣言 地方の事業者にも スピード感ある支援を

2月12日 議院運営委員会

厳しい状況にある方々を救うためには、スピード感が重要です。緊急事態宣言の出された都市部とそうでない地方とで、支援に格差があってはなりません。

YOKO
SAWA
POINT

インフラ整備などの目に見える復興はほぼ完了。大切なのは目には見えないソフト面の復興の取り組みです。

2

進む高齢化 災害公営住宅の 高齢者を孤独から救え

3月23日 東日本大震災復興特別委員会

1人での生活が困難な、災害公営住宅の高齢者。見守り支援を行っているとのことですが、長引くコロナ禍で、柔軟な対応が講じられているのか確認しました。

平沢
国務大臣

電話越しの安否確認や消毒してからの自宅訪問など、対策をした上で被災者に寄り添いたい。

3

高齢者や障がい者 災害弱者の命を 守る避難計画を

4月23日 災害対策特別委員会

東日本大震災で、自力での避難が難しい災害弱者の死亡率は2倍。助かるはずの命に差があってはなりません。全ての人の命を守るための避難計画作成を要請しました。

法案審議：
災害対策
基本法
改正

小此木
内閣府
特命大臣

個人をよく知る福祉専門職の方が計画作成に参画することが重要と考えている。

4

社会全体で全ての 人が共に生きる 合理的配慮が義務付けへ

5月27日 内閣委員会

読み書きや移動に困難のある方々に対応できる環境作りが、民間事業者に対して義務化へ。後押しするための国の財政的な支援を求めました。

YOKO
SAWA
POINT

性別や障がいを理由とした差別や障壁を取り除き、誰1人取り残さない社会へ！

5

オリ・パラ一体に 未来のスポーツ界 のあるべき姿は？

3月16日 文教科学委員会

アメリカは2019年、世界に先駆けてオリとパラの委員会を統合しました。特にパラスポーツは、環境整備と人材育成が重要です。日本の目指すべきスポーツ界のあり方を提言しました。

6

スポーツのジェンダー 誰もが活躍できる 体制づくりを

3月16日 文教科学委員会

日本の中央競技団体の女性理事の割合は平均で15.6%。スポーツ界でジェンダー平等を目指すには、女性指導者が女性選手を指導し、女性理事になるという流れを増やさねばならないと提言しました。

萩生田
文科大臣

大変ショックを受けた。外務省や大学等と連携し、安心して留学できる環境を整備したい。

萩生田
文科大臣

女性理事4割を目指し、女性の声をくみ上げる団体が変わっていくよう指導していく。

障がいのある無に関わらず、誰もが地域でスポーツを楽しめる環境作りを政府が率先して進めるべし！

YOKO
SAWA
POINT

